

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス・アニマート江戸屋		
○保護者評価実施期間	令和8年1月6日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和08/1/6		～ 令和8年2月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月28日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一週間を通して、日替で療育プログラムを行うことにより、利用者への成果が確実に出ている。 特に自立と考える力をつけ、利用者のIQや成績が上がり、テストで点数が取れるようになる等、目に見える成果を出している。	利用者が自分で考えて行動する。指示待ち人間にしない工夫をし、職員の自己満足な支援にならない様、ミーティングや情報共有を徹底して行っている。 学校や医療機関、役場と連携し利用者に関わる多くの人と情報共有し最善の環境が作れる様、努めている。	難しい課題にも取り組めるよう、レベルに合わせて少しずつ向上させる。 同じ課題が続かないよう、工夫して考える力を育てている。
2	感染対策は継続している為、コロナ禍から未だに事業所内でウイルスによる二次感染を出したことはない。 事業所として、全ての者を守るべく感染対策を継続して徹底している。	毎日、清掃。消毒液での拭き掃除、消毒を欠かさず行っている。 常時、換気を行いエアコン2台で風の流れを作っている。 送迎車も常に指が出せない程度で換気、車内でのお喋り禁止など感染対策を継続している。 症状がある利用者への徹底した感染予防対策をマニュアル通りに行っている。	今後も感染対策は緩める事なく、継続して感染症対策を行う
3	毎日、ミーティングを行い、職員同士で業務の中で困っている事や課題解決に時間がかかっている事など、意見を出し合い、業務改善につなげる為の意見交換を行っている。日々の気づきや連絡はグループLINEを活用し早い対応を行っている。	職員と代表取締役との面談を行って、悩みなどを抱え込まないようにしている。	支援方法の共通理解、統一した支援ができる様、役割を決めて、業務を遂行している事を職員に理解してもらう。
4	事業の明確化と迅速な保護者対応力。 事業所内で行っている活動や情報提供を保護者グループLINE、江戸屋YouTubeチャンネルで限定公開している	事業所での活動を保護者が閲覧できる様にして、事業所で何を、どんな支援、療育を行っているか事業の透明化を図っている。保護者用LINEでは子育て、発達に関する情報を載せている。保護者会を毎年、企画している。今年度は定休日の土曜日に開催した。保護者の相談には日中だけでなく夜間でも対応している。	モニタリング以外に保護者会では皆さんの悩みや疑問に応じているが、定休日の土曜に設定しても参加者が少なく、過去2年間は参加者が一人もいなかった。個人面談の希望も募っているが、あまり希望がない為、相談用紙などを配布して必要な方に記載してもらうなど工夫が必要かもしれない。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ベテランの指導員が多く若い職員が少ない。	市内の事業者がとて増えており、資格者が不足している。 保育園でも保育士が足りず、保育士資格の需要が多すぎていることが原因だと思われる。 障害児を扱う事業は敬遠されている。他事業者から「児童は保護者からの苦情が多いのでは？」など誤解がある。	無資格の者も積極的に雇用し、一から児童指導員へ育てる体制を強化する。